

## 令和4年度 大場地域ケアプラザPDCAシート\_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

### 一総括表一

#### ◆ 事業計画

##### 地域の現状と今後の方向性

コロナ禍においても包括への相談の中で認知症や虐待の相談が増えている。地域性もあるのか家族でギリギリまで抱え込んでいるケースも多く、相談に来られる時はかなり進んでいることが多い。また、介護される子世代においては、ケアプラザの認知が周知されていないことも多く、今後も引き続き周知活動に取り組んでいく。昨年あざみ野商店街と取り組んだ「やさしい街あざみ野実行委員会」における認知症理解に関するイベント等を継続し、認知症に関する理解を深めていく。また、ケアプラザの近くのエリアにおいては、認知症カフェ「カフェかやのき」をケアプラザ以外で開催し、住民への認知症の理解を深め普及啓発を行う。コロナ禍においても「地域ケア会議」を開催し、個別の課題から地域の課題につなげ、区と情報を共有し把握していく。また、集めた情報をマッピング等で共有し、課題の解決に向けた取り組みを検討していく。同様に高齢者だけでなく子育ての課題を把握するため、区や関係機関と連携し、情報を共有していく。

##### 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	老人会や地域活動への参加、出張講座等を通して、地域課題やニーズの把握を行う
<input type="checkbox"/>	■	引き続き6職種会議や区とのカンファレンスの場で地域情報のマッピングを行い、集めた情報を分析し課題解決に向けた取り組みを検討する
■	<input type="checkbox"/>	子育て連絡会や他機関・学校関係者との会議等に参加し引き続き各機関との連携を図り関係性を構築するとともに、地域が抱える子育ての課題に対する取り組みを共催事業として連携し協働する。
■	■	カフェかやのきをCP以外で開催する等工夫し、住民への認知症の理解、普及啓発をする。チームオレンジのモデル実施として、引き続きやさしい街あざみ野実行委員会への参加やキャラバンメイトとの連携ができるように支援する。
<input type="checkbox"/>	■	コロナ禍においても少人数で「地域ケア会議」を開催できるよう工夫する。個別の課題から同様の課題を抱えた地域の現状を確認し、個別から包括レベルの会議が開催できるよう検討する。

#### ◆ 事業報告・事業実績評価

##### 振り返り

総括：老人会や地域活動に積極的に声をかけ出張講座を行い、顔の見える関係から相談しやすい関係作りを心がけた。昨年は、コロナ禍のためZoomを利用して「認知症カフェ」を行ったりしたが、サポートーからの意見もあり今年度は対面に重きを置いて密にならないように工夫してカフェを行った。今後はケアプラザに出向いてくることが負担に感じる方を対象にして、時々町内会館へ出向き「認知症カフェ」や講座を行うことになった。6職種会議において、地域情報のマッピングや地域アセスメントを行い、地域課題の課題ができ情報を共有している。お祭りは開催できなかったが、事前に申し込み制し「秋のイベント」を行った結果、子育て事業の活性化に繋がり、事業の参加人数も増えている。地域における課題抽出を目的に医療関係者や福祉関係者、後見人、地域の方を招き「地域ケア会議」を開催できた。事例の課題も抽出でき今後の関わりについて各々ができることが可視化でき連携の大切さについて再確認できた。

##### 区からのコメント

- ・地域活動の参加や出張講座の開催を昨年度以上に実施していただいたことは次年度につながる大きな成果だと思います。地域に出ていくことで、地域ごとの特徴、課題が見えてくると思いますので、ぜひ今後の事業展開にも活かしてください。
- ・商店会や小児科、飲食店など様々な業界に子育てチラシや広報誌等の掲示を依頼されています。今後も新規掲示場所を開拓するなど取組を継続していただき、地域全体が子育てを支援していく気運を醸成できるよう働きかけていただければと思います。
- ・大場の介護者のつどいは、参加者にとって、話をじっくり聞いてもらえて癒される時間になっていると思います。
- ・ハマトレキャストの方々と新しい活動の立ち上げを目指して、具体的な検討を始めることができました。負担なく地域で介護予防の活動に取り組めるモデルを作って行けるよう、次年度も取り組んでいきましょう。
- ・お祭りに代わる事業を企画して、様々な団体がつながる機会になったと聞いています。活動機会のない団体にも活動意欲の向上が図れたということで、とても良い企画だったと思います。また、地域の方に、地域の現状や課題等についても伝えられる場にもなったということで、今後もそのような場づくりを継続していただければと思います。
- ・コロナ禍でも工夫し、丁寧な準備をしていただいたことで、地域住民のつながりが実感できる個別地域ケア会議になったと思います。忙しいなかですが、今後も個別地域ケア会議を積み重ねることで包括レベルへつながる課題が見えてくると思います。次年度の計画について区も一緒に考えていきたいと思います。

# 令和4年度横浜市大場地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組 計画	ケアプラザは公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向けた業務運営にあたります。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重し適切な対応を行います。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めます。定期的な研修、会議への参加、ヒヤリハットの活用、他機関、事業所での事故事例などを通じて情報の共有、注意喚起と事故防止に努めます。実際の個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底します。
実績	公設の施設として、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で課題解決に向け業務運営にあたりました。サービス選定等においては、選択肢を提示する等、相談者、施設利用者の意思を尊重した対応に努めました。	法人の規程、取組みに則り職員が連携してお客様の安全確保、情報管理に努めました。定期的な研修への参加、会議などを通じてヒヤリハット、他機関、事業所での事故事例などを共有し、注意喚起と事故防止に努めました。個人情報取り扱いについては、チェックリスト等を活用し、複数の人員によるダブルチェックを徹底しました。

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が継続できるよう支援します。	要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援してまいります。
利用料金 ・ 実費負担	なし	なし
職員体制	(管理者) 保健師1名 主任介護支援専門員1名 社会福祉士2名 予防プランナー1名	管理者(主任介護支援専門員) 1名 介護支援専門員 3名 事務職員 1名
契約者数	196名	121名

## 3 通所系サービス事業

	通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)
目標	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します	地域の方々から信頼されるケアプラザを目指します	
実施体制	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 35人	【実施日数】 308日 【提供時間】 9:30～16:35 【定員】 12人	【実施日数】  【提供時間】  【定員】

利用料金 ・ 実費負担	要支援1:5,219円 要支援2:10,233円 要介護1:6,512円 要介護2:7,053円 要介護3:7,616円 要介護4:8,175円 要介護5:8,744円 【実費】食費(おやつ含む):750円	要介護1:8,414円 要介護2:8,947円 要介護3:9,482円 要介護4:10,015円 要介護5:10,548円 【実費】食費(おやつ含む):750円	
職員体制	管理者:1名 生活相談員:6名 看護師:6名 介護職:24名 機能訓練指導員:6名	管理者:1名 生活相談員:6名 看護師:6名 介護職:24名 機能訓練指導員:6名	
契約者数等	【延べ利用者数】7,284人 【契約者数】33名	【延べ利用者数】2,372人 【契約者数】8名	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和4年度「横浜市大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

(単位：円)

**収入の部**

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
<b>指定管理料</b>	<b>16,102,432</b>	1,936,759	18,039,191	18,039,191	0	横浜市より
<b>自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）</b>	<b>200,000</b>		<b>200,000</b>	<b>236,100</b>	<b>△ 36,100</b>	
<b>横浜市による運営支援</b>				<b>261,000</b>		物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
<b>雑入</b>	<b>49,092</b>	0	<b>49,092</b>	<b>58,326</b>	<b>△ 9,234</b>	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	49,092		49,092	50,096	△ 1,004	
その他			0	8,230	△ 8,230	
<b>その他</b>			0		0	
<b>収入合計</b>	<b>18,351,524</b>	<b>1,936,759</b>	<b>18,288,283</b>	<b>18,594,617</b>	<b>△ 306,334</b>	

**支出の部**

科目	当初予算額（A）	補正額（B）	予算現額（C=A+B）	決算額（D）	差引（C-D）	説明
<b>人件費</b>	<b>10,610,909</b>	0	<b>10,610,909</b>	<b>10,271,059</b>	<b>339,850</b>	
本俸	5,599,791		5,599,791	6,772,681	△ 1,172,890	
社会保険料	1,038,867		1,038,867	989,558	49,309	
手当計	433,464		433,464	2,301,865	△ 1,868,401	
健康診断費	82,862		82,862	40,717	42,145	
労働者福祉共済掛金	8,250		8,250	7,506	744	
退職給付引当金繰入額	166,874		166,874	155,751	11,123	
その他	3,280,801		3,280,801	2,981	3,277,820	
<b>事務費</b>	<b>1,727,941</b>	0	<b>1,727,941</b>	<b>1,807,476</b>	<b>△ 79,535</b>	
旅費	10,000		10,000	11,541	△ 1,541	
消耗品費	211,888		211,888	171,629	40,259	
会議賄い費			0	24,743	△ 24,743	
印刷製本費	117,800		117,800	145,389	△ 27,589	
通信費	403,610		403,610	379,081	24,529	
使用料及び賃借料	0	0	0	8,400	△ 8,400	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	8,400	△ 8,400	
その他			0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	39,267		39,267	23,915	15,352	
職員等研修費	10,000		10,000	11,332	△ 1,332	
振込手数料	56,223		56,223	46,207	10,016	
リース料	368,414		368,414	80,279	288,135	
手数料	285,875		285,875	276,022	9,853	
地域協力費	162,364		162,364	163,014	△ 650	
その他	32,500		32,500	465,924	△ 433,424	
<b>事業費</b>	<b>716,770</b>	0	<b>716,770</b>	<b>374,357</b>	<b>342,413</b>	
運営協議会経費	<b>42,000</b>		<b>42,000</b>	0	<b>42,000</b>	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	<b>674,770</b>		<b>674,770</b>	<b>374,357</b>	<b>300,413</b>	
その他			0		0	
<b>I C T 整備費（追加）</b>	<b>0</b>	<b>197,384</b>	<b>197,384</b>	<b>197,384</b>	<b>0</b>	
I C T 整備費（追加）		197,384	197,384	197,384	0	
<b>オンライン相談機器整備費（追加）</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
オンライン相談機器整備費（追加）（モテル実施対象施設）			0	0	0	
<b>サニタリーボックス（追加）</b>	<b>0</b>	<b>5,000</b>	<b>5,000</b>	<b>1,518</b>	<b>3,482</b>	
サニタリーボックス		5,000	5,000	1,518	3,482	
<b>管理費</b>	<b>4,963,019</b>	0	<b>4,963,019</b>	<b>8,152,202</b>	<b>△ 3,189,183</b>	
光熱水費	2,259,613		2,259,613	5,027,077	△ 2,767,464	
清掃費	1,815,192		1,815,192	2,039,329	△ 224,137	
機械警備費	111,104		111,104	124,824	△ 13,720	
設備保全費	777,110	0	777,110	0	777,110	
空調衛生設備保守	506,792		506,792	569,364	△ 62,572	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守	64,323		64,323	72,264	△ 7,941	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他他保全費	205,995		205,995		205,995	
共益費			0		0	
その他			0	319,344	△ 319,344	植栽、ルート回収費
<b>修繕費</b>	<b>474,000</b>	<b>1,936,759</b>	<b>2,410,759</b>	<b>2,208,375</b>	<b>202,384</b>	<b>予算: 指定額</b>
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
<b>その他</b>			0		0	
<b>支出合計</b>	<b>18,492,639</b>	<b>1,936,759</b>	<b>20,428,398</b>	<b>23,012,371</b>	<b>△ 2,582,973</b>	
<b>差引</b>	<b>△ 2,141,115</b>	<b>0</b>	<b>△ 2,141,115</b>	<b>△ 4,417,754</b>	<b>2,276,639</b>	

自主事業費 収入	200,000	0	200,000	236,100	△ 36,100
自主事業費 支出	674,770	0	674,770	374,357	300,413
自主事業 収支	△ 474,770	0	△ 474,770	△ 138,257	△ 336,513

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	49,092	0	49,092	50,096	△ 1,004	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	8,400	△ 8,400	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	49,092	0	49,092	41,696	7,396	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和4年度「大場地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）<包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ>**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,424,205		29,424,205	29,733,382	△ 309,177	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,802,000		5,802,000	5,802,000	0	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000	300,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	6000		0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】			0	0	0	
横浜市による運営支援				261,000		物価高騰の影響を踏まえた横浜市による運営支援
雑入	0	0	0	60,000	△ 60,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
その他			0	60,000	△ 60,000	
<b>その他</b>			0	440	△ 440	
<b>収入合計</b>	<b>35,686,205</b>	0	<b>35,686,205</b>	<b>36,310,822</b>	<b>△ 624,617</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>29,027,467</b>	0	<b>29,027,467</b>	<b>28,678,141</b>	<b>349,326</b>	
本俸	22,015,329		22,015,329	16,571,568	5,443,761	
社会保険料	3,805,441		3,805,441	3,888,118	△ 82,677	
手当計	1,977,816		1,977,816	7,400,663	△ 5,422,847	
健康診断費	90,304		90,304	42,041	48,263	
勤労者福祉共済掛金	33,750		33,750	34,506	△ 756	
退職給付引当金繰入額	700,875		700,875	734,250	△ 33,375	
その他	403,952		403,952	6,995	396,957	
<b>事務費</b>	<b>1,277,660</b>	0	<b>1,277,660</b>	<b>1,525,951</b>	<b>△ 248,291</b>	
旅費	23,000		23,000	27,970	△ 4,970	
消耗品費	120,000		120,000	153,882	△ 33,882	
会議賄い費			0	0	0	
印刷製本費	117,800		117,800	145,389	△ 27,589	
通信費	321,750		321,750	322,319	△ 569	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	81,284	△ 81,284	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	39,267		39,267	23,910	15,357	
職員等研修費	50,000		50,000	33,082	16,918	
振込手数料	56,223		56,223	45,822	10,401	
リース料	319,199		319,199	80,279	238,920	
手数料	166,421		166,421	226,395	△ 59,974	
地域協力費	31,500		31,500	27,500	4,000	
その他	32,500		32,500	358,119	△ 325,619	
<b>事業費</b>	<b>1,206,190</b>	0	<b>1,206,190</b>	<b>979,831</b>	<b>226,359</b>	
協力医	630,000		630,000	567,000	63,000	予算:指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	60,000		60,000	0	60,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	158,190		158,190	152,706	5,484	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	58,000		58,000	2,800	55,200	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000	257,325	42,675	
その他			0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,314,647</b>	0	<b>1,314,647</b>	<b>2,167,036</b>	<b>△ 852,389</b>	
光熱水費	600,656		600,656	1,336,311	△ 735,655	
清掃費	479,407		479,407	542,096	△ 62,689	
機械警備費	29,343		29,343	33,180	△ 3,837	
設備保全費	205,241	0	205,241	170,568	34,673	
空調衛生設備保守	133,848		133,848	151,356	△ 17,508	
消防設備保守			0	0	0	
電気設備保守	16,988		16,988	19,212	△ 2,224	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	54,405		54,405	54,405	0	
共益費			0	0	0	
その他			0	84,881	△ 84,881	植栽、ルート回収費
<b>修繕費</b>	<b>126,000</b>		<b>126,000</b>	<b>300,793</b>	<b>△ 174,793</b>	予算:指定額
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
<b>その他</b>			0	257,824	△ 257,824	
<b>支出合計</b>	<b>32,951,964</b>	0	<b>32,951,964</b>	<b>33,909,576</b>	<b>△ 957,612</b>	
<b>差引</b>	<b>2,734,241</b>	0	<b>2,734,241</b>	<b>2,401,248</b>	<b>332,995</b>	

自主事業費 収入	6,000	0	6,000	0	6,000
自主事業費 支出	576,190	0	576,190	412,831	163,359
自主事業 収支	△ 570,190	0	△ 570,190	△ 412,831	△ 157,359

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる取扱	0	0	0	0	0

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

## 令和4年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書&lt;介護保険事業分&gt;

施設名:大場地域ケアプラザ

2022年4月1日～ 2023年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症通所		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,624	4,817	-193	5,830	6,771	-941	23,089	26,168	-3,079	64,580	58,829	5,751	2,765	1,146	1,619	35,716	30,389	5,327
	その他	0	0	0	0	60	-60	1,519	1,108	411	12,256	15,838	-3,582	306	157	149	6,026	8,242	-2,216
	事業・負担金収入			0			0			0	6,462	8,545	-2,083	26	26	0	3,973	5,391	-1,418
				0			0			0	5,794	5,511	283	280	131	149	2,031	1,800	231
	補助金			0		60	-60		60	-60		1,111	-1,111			0	22	821	-799
				0			0			0			0				0	0	
				0			0			0			0				0	0	
	その他			0			0			0	1,170	844	326	671	-671			230	-230
	収入合計(A)	4,624	4,817	-193	5,830	6,831	-1,001	24,608	27,276	-2,668	76,836	74,667	2,169	3,071	1,303	1,768	41,742	38,631	3,111
支出	人件費			0	1,204	768	436	17,900	18,437	-537	62,099	61,534	565			0	27,348	24,705	2,643
	事務費			0	7,706	8,548	-842	1,332	1,588	-256	4,424	7,159	-2,735			0	1,497	2,029	-532
	事業費			0			0			0	6,003	5,714	289			0	2,090	1,921	169
	管理費			0			0			0	7,466	5,641	1,825			0	2,761	1,851	910
	その他			0	0	0	0	0	0	0	31	-31	0	0	0	0	0	0	
	利用者負担軽減額			0			0			0		31	-31			0		0	
	消費税			0			0			0			0			0		0	
	介護予防プラン委託料			0			0			0			0			0		0	
				0			0			0			0			0		0	
				0			0			0			0			0		0	
	その他			0			0			0			0			0		0	
	支出合計(B)	0	0	0	8,910	9,316	-406	19,232	20,025	-793	79,992	80,079	-87	0	0	0	33,696	30,506	3,190
	収支(A)-(B)	4,624	4,817	-193	-3,080	-2,485	-595	5,376	7,251	-1,875	-3,156	-5,412	2,256	3,071	1,303	1,768	8,046	8,125	-78

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

## 令和4年度 自主事業計画書・報告書

■事業		■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者			
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業	1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）			7 : その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期		合計	
								実施回数	延べ参加人数		
1	包括カンファレンス	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーのスキルアップ。関係者間の連携強化。	6:事業者	5	地域のケアマネジャーを対象に、勉強会や交流会、情報提供等を行う。民生委員や医療との連携の場を設ける。隔月開催。	6	84	
2	健身操	H24	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	①地域の高齢者の介護予防につなげる ②地域での顔見知りを作る	1:高齢者		概ね65歳以上の介護保険サービスを利用されていない方。講師による椅子に座つて体の芯を動かせる体操。第2・4木曜日の月2回開催。	21	362	
3	スクエアステップ	H28	4:共催(1と2)	2:発展させるねらい	健康寿命の延伸を目指し、概ね60歳以上の元気な方々を対象に、楽しみながら介護予防(転倒予防、認知機能向上)を目的に仲間づくりを行う。	1:高齢者		概ね60歳以上のお元気な方。講師による楽しみながら転倒予防、認知症予防を目的とした体操。第2・4金曜日の月2回開催。	22	165	
4	あそびのフリースペース さくらんぼひろば	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の子育て中の養育者と未就園児が互いに交流ができる ②養育者の地域での仲間づくり ③ボランティアを含めた世代間交流	3:養育者及び乳幼児		毎月第1木曜日 多目的ホールでの遊び場 不定期でイベント開催	12	98	
5	とっぴんぱらり	H20	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の乳幼児のいる親子の閉じこもり防止 ②地域の親子の交流の促進	3:養育者及び乳幼児		語り手たちの会：菅野智子氏によるわらべうたで親子のコミュニケーションと子育て支援。わらべうた以外にもおはなし、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行う。毎月第4火曜日(8月だけ不定期)	12	65	
6	オアシス游	H15	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の元気高齢者の外出の機会の創出 ②地域で顔見知りを作る	1:高齢者		概ね70歳以上で介護保険を利用していない方のお食事会と居場所。 開催時期はコロナの状況をみて。(例年は6月、8月、10月、12月)	0	0	
7	銀のつどい	H17	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	①ボランティア活動の活性化 ②地域の高齢者の閉じこもり防止	1:高齢者		65歳以上の方対象のミニデイサービス 毎週金曜日実施 一般開放のイベントもあり。	45	761	
8	防災訓練	H30	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	災害時に備え、ケアプラザ職員が役割を把握し、貸館のお客様、地域の方とともに、ケアプラザ内の防災訓練を行う。	5:地域		年2回。地域の方や登録団体の方を交えて、訓練を行う。	1	16	
9	全館清掃	H23	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①ケアプラザの貸館利用団体同士の交流 ②登録団体が施設に愛着を持ち、きれいに使おうという意識付けができる	5:地域		年1～2回。地域の方や登録団体の方を交えて、ケアプラザをキレイにする。コロナの状況を見て開催予定。	0	0	
10	キッズフラワーアレンジメント	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①ケアプラザとなじみの薄い就園児または小学生にケアプラザに来館してもらうきっかけづくり ②参加者がお互いの作品を見ながら会話することで、学年を超えて交流できる	4:子ども・青少年		小学校中学年から中学生までを対象 母の日と父の日前の土曜日に開催	6	66	
11	かやのき土曜コンサート	H19	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の音楽家に地域活動に関心をもつてもらうきっかけを作る ②地域の方がケアプラザに来館するきっかけづくり ③閉じこもりの防止	5:地域		奇数月の第2か第4土曜日に開催 地域の音楽活動家と地域をつなぐ意味も込めて継続中。	2	46	
12	おもしろ科学・で・工作	H22	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①小学生やその保護者にケアプラザを知つてもらうきっかけづくり ②世代間交流の促進	4:子ども・青少年		7月または8月の夏休み期間に開催。 子供たちの夏休みの自由研究の一環として支援している。	2	30	
13	親子でクッキング	H29	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の小学生やその保護者にケアプラザに来館してもらうきっかけを作る ②ボランティアと小学生や養育者の世代間交流の促進 ③養育者同士の交流の輪を広げる	4:子ども・青少年		7月の最終週、あるいは8月開催。 地域の料理クラブあるいは、食生活等改善推進員等と共に親子の食育を含めた活動。コロナの状況をみて開催。	0	0	
14	かやのき祭り	H15	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	①地域ケアプラザの地域へのPR ②世代間交流の促進 ③地域活動団体を知ってもらう機会とする	5:地域		年1回、11月第3日曜日に開催。 地域の方と共同して、ケアプラザを周知し、地域の様々な活動もアピールする。	0	0	
15	ほっとサロン青葉 出前サロン	R1	4:共催(1と2)	1:優先的に取り組み	①精神に障害をお持ちの方や、メンタルヘルスに困っている方々の、身近な地域の居場所になれるように、ほっとサロン青葉が主催となり、共催事業としたカフェの開催。	2:障害児・者	6	年3回程度開催 精神の病気等を持つ方々を理解していくために、また地域での身近な居場所になれるための活動。	0	0	
16	座♪とんとん人形劇公演	H17	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①世代間の理解の促進 ②子育て中の方が外出し、リフレッシュできる	3:養育者及び乳幼児	5, 7	年1回開催。 子供と養育者が一緒に楽しめる場の提供を軸に継続している。	1	30	

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者（複数選択可）	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
17	WITH クリスマス会	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①地域の常設の子育てひろばのPRと地域ケアプラザが子育て中の方が利用できる施設であるとの周知 ②地域の子育て中の方のリフレッシュ ③同世代の子を持つ保護者同士が知り合うきっかけ作り	3:養育者及び乳幼児	7	年1回、12月に開催。 子育て広場とコラボレーションして、地域の方々と様々な接点をもつ貴重な機会となっている。	1	47
18	小中学生 書初め	H26	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①世代間交流の促進。 ②若い世代にケアプラザを知ってもらい、来館のきっかけづくり。	4:子ども・青少年	5, 7	年1回、1月に開催。 地域のグラフサークル「書道会」の方と協力して多世代交流の場としている。	0	0
19	ボランティア交流会	H21	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	・大場地域ケアプラザで活動してくださっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。	5:地域		年1回開催。 大場地域ケアプラザで活動してくださっているボランティアの皆さまとの勉強会と交流会。	0	0
20	児童安全法	H27	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・食べ物を詰まらせてしまった時の対処法や、急な意識消失の際の対応等、子育て中の親子の学びの講座。	3:養育者及び乳幼児	7	年1回開催 子育てひろばWITHと赤十字との共催により行う子育て中の親子の学びの講座	1	22
21	発達障がいとグレーゾーンを考える(仮)	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①発達障がいやグレーゾーンの種類や特徴を知ることで、地域の子供達への理解を深める。 ②対象児童への対応や地域で育てる環境づくりのヒントを探る。	2:障害児・者	3, 4, 5, 6,	地域の養育アドバイザーやリトリック指導者を講師に迎え、区子ども家庭支援課と美しが丘・たまプラーザCPとの共催により、山内地区の子育て中の悩みに応える事業を開催する運び。	1	10
22	ICT講座「ZOOMの使い方講座」	R4	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	①地域の方(主に高齢者)向けにスマホ操作を学ぶきっかけづくり。 ②スマホを使いこなすことによる、積極的な地域の方との交流の手助け。	5:地域	1	昨年のZOOM講座に続き、今年度は生活に身近なスマホを使いこなせるようになる講座を企画。最終的にQRコードを読み込み各種手続きを行ったり、検索で便利に調べたり、ラインで連絡を取り合ったり出来るようになることが目標。	2	18
23	みんなの学習室	R3	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	①小学生やその養育者にケアプラザを知ってもらおうきっかけづくり。 ②多世代交流の促進。	4:子ども・青少年	6, 7	長期休暇(夏休み、冬休み等)中の余暇活動として、青少年の地域活動拠点『あおばコミュニティ・テラス』のサポートにより、多世代交流を兼ねた学習支援。	2	10
24	パラスポーツを楽しむ	R4	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	①ハンディキャップの有無や年齢その他に問わらず多様性を受け入れ、スポーツを通じた共生社会(友達作り)と生涯スポーツ社会を目指した地域づくり。 ②スポーツをとおした団体や自治会との繋がり。	5:地域	1, 2, 4, 6, 7	横浜市さわやかスポーツ(一心会会長)とともに、地域の方々とパラスポーツを楽しむ。	0	0
25	キャンドルホルダーワークショップ	R3	5:共催（1と3）	1:優先的に取り組み	①キャンドルホルダーを通じ認知症の講座を行うことで認知症への理解を深め、認知症に優しい街づくりを目指す。 ②子供達やその養育者、高齢者、自治会等、世代を超えた多世代交流による助け合いの精神を育む。	5:地域	1, 4, 6, 7	やさしい街あざみ野実行委員との取組みのひとつ『認知症にやさしい街あざみ野』の取り組みとして昨年よりスタートした事業の継続。	2	26
26	あおばイキイキ!!元気塾	H23	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の方々にいつまでも元気でいきいきと生活していくため、介護予防に関する知識を広め普及啓発することを図る。ハマトレの効果、継続して行うことの大切さを伝えることができる。ケアプラザから新しいエリアで行うことでケアプラザの周知や老人会の支援へ繋げることができる。	1:高齢者	5	ロコモ予防、口腔機能向上、低栄養予防、ハマトレ、ポジティブエイジングなど。5~6月、秋頃に2コース開催予定。	6	55
27	はづらつ体力チェック、結果説明会	H22	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	①地域の高齢者が客観的なデータに基づき自身の体力を知り、その後の体力づくり、健康づくりの意欲を高め継続することで健常寿命延伸を目指す。 ②健康づくりが継続できるよう家でもできる運動を知ることや、地域の様々な介護予防講座への参加に繋げる。 ③はづらつ体力チェックサポーターが改めて体力チェック実施の目的やサポーターとしての役割を知り、スキルアップの機会とする。	1:高齢者	5	握力や長座体前屈などの項目がある体力測定会。日本体育大学共催。6月、12月頃開催予定。 サポーターの活躍の場として、地域の集いの場に出張して体力チェックを適宜開催。	4	101
28	オーラルフレイル予防講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	口腔内を健康に保つことは身体全体の健康にも繋がることや口腔ケアの大切さを伝えることができる。	1:高齢者	5	歯科医師によるオーラルフレイルの危険性や口腔ケアの大切さについての講演(Zoomで別会場と中継)。5月に開催予定。	1	14
29	大場ウォーキングの立ち上げ支援	R4	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	個人でもグループでもでき、場所を問わずできるウォーキングを定期的に行うグループがケアプラザ近くになく、グループ化を目指すことでロコモ予防や社会参加に繋げる。	1:高齢者		青葉区ウォーキングマップに沿って可能な限り毎月ウォーキングを実施。	6	40
30	認知症カフェ カフェかやのき	H29	6:共催（2と3）	1:優先的に取り組み	・認知症ご本人や家族が安心して参加でき、必要に応じて相談ができる、地域の方、専門職、ボランティアなど様々な人が認知症についての情報交換ができる定期的な場づくり。 ・認知症サポーターの活躍の場づくり。	5:地域		ゲストスピーチ、情報交換、体操などコロナ禍で開催可能な内容毎月第1木曜日13:30~	12	181
31	認知症サポーター養成講座	H20	7:共催（1と2と3）	1:優先的に取り組み	地域を対象に認知症への理解につながる講座を実施することで、地域ぐるみで認知症の方を支えることができるようになります。	5:地域		認知症サポーター養成講座の実施	3	49

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者（複数選択可）	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
32	介護者の集い	H18	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	家族を介護している方、家族を介護した経験のある方を対象に介護に関する話題について勉強する。また介護者同士が意見交換することにより、介護の現場で役立つ情報を相互に得る事ができる。	5:地域		毎月1回(第4水曜日)開催	12	74
33	終活講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	将来への備えについて学ぶことで、今後的人生を不安なく、より良く生きていける地域住民が増える。	5:地域		全3回で各回テーマを決めて開催する。	3	63
34	エンディングノート講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	意思決定支援ツールとしてのエンディングノートの内容や書き方について周知を図る。	5:地域		年1回講座を行う。	1	23
35	チームオレンジのモデル実施	R4	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・「認知症にやさしい街プロジェクト」において、認知症サポーター養成講座、ステップアップ研修等を開催する。キャラバンメントと連携することでキャラバンメントの活躍の場を広げる。 ・キャラバンメント同士が顔を合わせ、情報共有したり勉強会などを通してスキルアップできる機会とする。	5:地域		不定期開催 9月に「認知症にやさしい街プロジェクト」のイベントに協力、認知症VR体験を実施 キャラバンメント連絡会では、キャラバンメント同士の情報共有、勉強会、やさしい街あざみ野実行委員との連携を行う	9	116
36	みんなで脳活レク	H26年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	・地区センター利用者に向けて、地域ケアプラザの情報発信ができる場とする。 ・高齢者が楽しく交流できるイベント形式の場づくり。 ・山内地区社会福祉協議会の紹介ができる場とする。 ・山内地区社会福祉協議会との連携(地域福祉保健計画の取組みとなるよう)	1:高齢者		・10/13 13:30～15:00 1回実施	1	24
37	ライフキネティック体験会	R4	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・脳活性化エクササイズの「ライフキネティック」を通して認知症やロコモティブシンドrome予防の普及啓発に繋げる。 ・今まで地域ケアプラザの事業に参加したことのない人がケアプラザに来館することで、福祉の相談窓口としてのケアプラザを知ってもらう。	1:高齢者		全2回開催	2	41
38	プロアーティストと一緒に手作り楽器を演奏しよう！	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・アーティストによる本物の音楽を「聴く」「体験する」を子供たちに届け、感性に響く時間を体験する。 ・手作りで楽器を作り、感性させることで達成感を得、指導者である大人との世代間交流の促進を図る。	4:子ども・青少年		制作 7/28 演奏 8/5	2	58
39	「秋のイベント」	R4	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	毎年開催していた「かやのき祭り」がコロナ禍において自粛していたため、高齢者のメンタルヘルス向上とフレイル予防のために「体力測定」「みんなでスポーツ」「ちびっこひろば」のブースに分かれ開催	5:地域		地域プラザの地域へのPR 世代間交流の促進 地域活動団体をしつてもらう機会とする コロナ禍の地域の活性化を図る	1	127
40	プレ・リトミックであそぼう！	R4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・ケアプラザの周知と他事業への誘致 ・養育者同士の交流 ・来年度新事業開催に向けた体験会	3:養育者及び乳幼児 4:		・3/16(木) 10:00～10:30 10:50～11:20 の2部制で入替開催。	1	37
41	子どもの育て難さや子育てのお悩みを抱える今の養育者について 意見交換会	R4年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・発達障がいやグレーゾーン等養育者が育て難い感じる子育て支援をするひろば開催に向けて、支援者との意見交換会	3:養育者及び乳幼児 2,5,7		・12/21ラフル主催の「配慮が必要な子を持つ養育者への対応」ZOOM研修受講 ・1/10支援者・子ども家庭支援課・コーディネーターとの意見交換	1	10
42	ハマトレキヤスト支援	R4年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	・ハマトレキヤストとなった地域住民が活躍できる場づくりを支援する。 ・地域住民にハマトレを普及し、介護予防や健康づくりに繋げる。	1:高齢者		打ち合わせは12/7、1/19、2/10、3/28 ラナー講座を3/9 次年度5月から山内図書館にて月2回「図書館でハマトレ」の定期開催が決定	5	16